

令和3年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会

令和3年11月25日

会場： 国立市立学校第一給食センター大会議室

日時： 令和3年11月25日（木）午後2時から午後2時30分まで

出席委員：黒田委員、秋山委員、河合委員、匂坂委員、後藤委員、中井委員、吉野委員、村上委員、播磨委員、久保委員、矢田部委員、矢澤委員、小野委員、小林委員、七条委員、牛島委員（16名）

事務局：土方給食センター所長、青木主査、宮本主査

【黒田会長】 皆様、こんにちは。それでは、定刻となりましたので、これより令和3年度第3回国立市立学校給食センター運営審議会を開始いたします。

本日はお忙しい中、御出席をいただきまして、ありがとうございます。本日の出欠席の状況でございますが、多摩立川保健所の垣委員から欠席の連絡をいただいております。御了承いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、まず資料の確認をしたいと思います。事務局よりお願いいたします。

【事務局】 それでは、議事に先立ちまして資料の確認をお願いいたします。事前に郵送いたしました、運営審議会次第、資料1-1の令和3年度事業報告、資料1-2、1-3で学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地について。資料2として、稲城市立学校給食共同調理場第一調理場と書かれた御案内パンフレットになります。最後に本日、席次表を机上に配付させていただいております。過不足等ございますでしょうか。ありがとうございます。

以上です。

【黒田会長】 ありがとうございました。

それでは、次第に従いまして議題のほうに入らせていただきます。

本日は、議題が2本予定をされておりますので、よろしくお願いいたします。

まず初めに、議題の（1）事業報告について。（1）事業報告についてを議題といたします。事務局から報告をお願いいたします。

【事務局】 それでは、事業報告につきまして御説明いたします。資料番号1-1を御覧ください。

まず、9月30日の令和3年度第2回運営審議会から本日までの事業等の主なものについて御説明させていただきます。

10月13日に「学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地について(お知らせ)」を全校配布の形で送付してございます。これは10月4日、外部機関による検査の結果、レンコン(茨城県産)に微量の放射性物質が検出されました。給食食材として御提供する前の検査ですので、学校給食食材として使用することはございませんでしたが、従前にならい、保護者様宛ての文書を送付いたしましたものでございます。

具体的な測定濃度につきましては、後ほど御説明いたします。

22日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会が青梅市にて開催され、当市からは栄養士が1名参加しております。

11月12日には、多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会会長会が稲城市にて開催され、私、所長が出席いたしました。

最後に、本日、第3回の運営審議会という経過でございます。

以上が主なものについて御報告させていただきました。

続きまして、資料番号1-2及び1-3でございますが、給食センターでの放射性物質の測定結果については、8月30日から10月末までの給食実施日の飲用牛乳を除いた小中学校の提供給食を測定し、いずれも検出限界値にて不検出との結果でございました。外部検査機関による放射能測定の結果につきましては、資料のとおりでございます。

先ほど申しました資料1-2の上段の表にレンコンのセシウム137の濃度が1.3ベクレルと記載されております。農林水産省が設定する食品に関するセシウム137の基準値では、一般食品が100ベクレル、乳幼児用食品が50ベクレル、牛乳が50ベクレルなどとなっております。国立市では、品目によって違いはありますが、0.7ベクレルから1.0ベクレルを目途として下限値を設定し、より精度を高くして測定しております。したがって、今回計測されたセシウム137の濃度、1.3ベクレルは、国において基準値未満の値が計測されておりますが、使用を中止し、産地を変更したところでございます。

最後に、10月、11月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定も同様に記載してございます。

報告につきましては以上でございます。

【黒田会長】 報告が終わりました。御質問や御意見はありませんでしょうか。ありましたら、お願いいたします。

久保委員、お願いいたします。

【久保委員】 国立第七小学校の久保です。よろしくお願いします。

10月22日の献立研究部会なんですけど、どんなことをお話しされたのか。差し支えない範囲でお願いします。

【事務局】 多摩地区の11団体からなる共同調理場の、市町村、または羽村、瑞穂みたいに一つの共同調理場があるんですが、その栄養士が集まって、献立の、たしか私の記憶では、特筆する献立なんかがあるようだったらそれを発表し合ったりとか、共通問題で困っていることがあれば認識し合ったりということなんですけど、ちょっと私もうろ覚えなものですから、今日は栄養士が所用で欠席しているものですから、分かりましたら、後日、詳細についてはお知らせさせていただきたいと思います。申し訳ございません。

【久保委員】 ありがとうございます。よろしくお願いします。

【黒田会長】 ほかに御質問や御意見がありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。特にないようですので、次に移らせていただきます。

続きまして、議題の(2)視察研修について。それでは、(2)の視察研修についてを議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 かしこまりました。

それでは、視察先として、今回、事務局のほうから御提案させていただきます稲城市立学校給食共同調理場第一調理場につきまして、御説明いたします。資料2を御覧ください。

まず、視察場所として選びました稲城市についてですが、国立市と大変似通っている市であるということが言えます。これは国勢調査を基にした人口と産業構造、細かく言うと、産業別就業人口の比率となりますが、このような数字が、財政分析比較表及び歳出比較分析表において、全国の市町村の中で国立市と同じ分類の団体に入っております。そして、その稲城市に今年度より開設された学校給食共同調理場は、資料の表紙の中段に記載されています施設概要にありますように、調理能力が6,500食、アレルギー対応食が100食となっており、令和5年度第2学期から開設予定の国立市新学校給食センターの調理能力が5,000食、アレルギー対応食が80食を想定しておりますので、ほぼ同程度であると言えます。また、敷地面積については、国立市の候補地は3,800平米余なのに対して、稲城市が2,900平米余と一回り小さく、そのほか建築面積と延べ面積につきましては、国立市については建築面積が1,993平米、延べ面積が3,556平米を予定しており、建築面積では国立市のほうが若干大きいのですが、逆に、延べ面積は稲城市のほう

が若干大きいことになります。これは国立市が2階建てを予定しており、それに対して稲城市が3階建てであることが要因でございます。

ちなみに、給食調理業務は民間委託しており、献立作成や物資選定、発注などの根幹部分は直営で行っておりまして、国立市の新学校給食センターでの運営方法とほぼ同じでございます。

施設見学者への対応も万全の体制であると聞き及んでいることから、皆様には当日お集まりいただきましたら、まずは、現状の国立市の給食センターを十分見学していただき、その後、稲城市立学校給食共同調理場第一調理場を視察いただいて、今後の国立市における新学校給食センターの運営につきまして御意見や御要望をお寄せいただければと存じます。

また、あわせて、視察先から帰ってきまして、国立市の給食を試食していただきたいと考えてございます。本来でしたら、稲城市において試食していただきたいところでしたが、あいにく稲城市は、原則、稲城市民のみを対象としていることで、大変残念でございますが、国立の学校給食について忌憚のない御意見をいただければと存じます。

スケジュール感といたしましては、午前9時頃お集まりいただき、国立市の給食センター調理場を視察していただき、その後、バスにて10時頃到着を目途に、稲城市立学校給食共同調理場に向かい、施設の説明、見学をし、おおむね11時前後に稲城市を出発いたしまして、国立市に着きましたら、試食をしていただき、昼過ぎに解散することで考えてございます。

御説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

【黒田会長】      ありがとうございました。それでは、御質問や御意見がありましたら、お願いいたします。

久保委員、お願いいたします。

【久保委員】      国立第七小学校の久保です。よろしくお願いいたします。

視察の際に、例えばカメラとか、動画とかで撮影は許していただけるのかということをお伺いしたいんですけども。

【事務局】      カメラ、動画撮影については、ちょっとそこまでは聞いてはいないんですが、たまたまというか、明日、うちの事務主査がこの場所に会議で行ってきますので、稲城市の課長、係長にしっかり聞いてきますので、皆様に正式な御案内通知を出すときには、確実にその辺は明確にお答えできるようにさせていただきたいと思います。

【久保委員】      ありがとうございます。

あともう1点いいですか。大丈夫ですか。こちらから質問とかというのは事前に大丈夫でしょうか。

【事務局】      ありがとうございます。そうですね。当然、現場での質疑応答をスムーズにということを考えれば、事前に質問を設定して、当日お答えいただくのか、あるいは文書にてお答えいただくような形になるかと思います。御案内通知と一緒に事前に質問のある方はお寄せくださいというような御案内をさせていただきますので、その際に事務主査のほうに申し出ていただければと思います。

【久保委員】      ありがとうございます。

【黒田会長】      ほかにございますでしょうか。

矢澤委員、お願いいたします。

【矢澤委員】      国立一中の矢澤です。

この資料2に設備や機能について書いてあるんですけども、国立市の新給食センターも大体こういった内容のものを入れる予定でありますか。そしたら、それがこのような格好のまま新給食センターになるんだなという思いで見られるのか、全くまだその設備については違うものが入ってくるのか、どのような形で私たちが見学したらいいのか、ちょっとお聞かせください。

【事務局】      当然施設の大きさは違うんですけど、設備、私も見ていますけど、パススルー冷蔵庫、調理室にある回転釜とかを見ますと、ほぼほぼ同じ、あるいはちょっとこちらには載っていないんですけど、例えば新しい給食センターでは、連続炊飯器、御飯を洗米から、炊いて、ほぐし返してくれて、食缶まで入れてくれるという連続した炊飯器も用意はできております。あと、フライヤーもそうですね。連続フライヤー、これも自動的にベルトコンベヤー方式で、遠赤外線を使いながら揚げをしていくというような設備も入れておりますので、今どこもほぼ同じような設備が入っているんですが、同程度のものと認識していただいて構わないかと思います。

【黒田会長】      よろしいですか。ありがとうございました。

ほかにございますでしょうか。特にないようでしたら、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、年が明けた1月27日木曜日の午前中を目途に、稲城市立学校給食共同調理場第一共同調理場を視察することで決定をいたします。よろしくお願いをいたします。

続きまして、議題の（３）その他になります。最後に（３）のその他でございますけれども、委員の皆様から何かありますでしょうか。よろしいですか。

事務局のほうで何かありますか。

【事務局】 それでは、まず、事務局で当初お話しする予定ではなかったんですが、ぜひ栄養士のほうから話してくれと言われたものが一つございまして、今、皆様のほうから向かいますと、南側といいますか、私の席の右側のほうにばれいしょの段ボールがいっぱいあるかと思います。実は、今日、第七小学校の１年生が給食センター見学に来られまして、ジャガイモの絵を外して、これは何でしょうというふうに栄養士が質問しました。答えられませんでした。ばれいしょがジャガイモって分からなかったんですね。ジャガイモなんですって話をして、今日、小学校はシーフードカレー、中学校はツナカレーだったんですけど、そのシーフードカレーに使ったばれいしょ、ジャガイモは、今日、これは段ボール全部使っています、２００キロですという話をしまして、大変びっくりしたということで、最初片づけようかと思ったんですけど、ぜひ皆さんに見てほしいということで栄養士から言われたものですら、一言ここで入れさせていただいております。

それでは、もう１件なんですけど、先ほど視察の件で御報告がございます。これは事務的なお話になるんですが、国立市に戻りましたら、給食を試食していただくことを予定してございまして、ちょうど１月２７日は全国的に学校給食週間の期間中となっております。当日、皆様には小学校給食を試食していただければと考えておりまして、ちなみに現時点での献立といたしましては、御飯、牛乳、豚汁、鳥肉のニンニクしょうゆ焼き、国立産ホウレンソウアイスを予定してございます。また、小学校、高学年用の単価といたしまして、２６６円でございます。当日、御試食いただける方は、お釣りのないように２６６円を御用意していただきまして、当日の朝、給食センターに集合していただきまして、徴収という形を取らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

その他の事項につきましては以上でございます。

【黒田会長】 ありがとうございます。

本日の議題は全て終了いたしました。

次回は令和４年１月２７日木曜日に、稲城市立学校給食共同調理場第一共同調理場への視察研修となりますので、よろしくお願いいたします。

では、これで第３回学校給食センター運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。

— 了 —